

福祉の壁をぶっ壊せ



**開かれた施設目指して福祉施設と高校が連携
高校生と高齢者の交流で力を合わせて壁を壊す**

道を挟んで隣り合う、社会福祉法人慈恵会 ゆいの里と県立守山北高校は、物理的な施設の壁と心理的な壁を壊そうと、連携した参加型イベントを実施しました。生徒や高齢者などが参加し、力を合わせてハンマーなどを使って壁を壊しました。参加した生徒は「壁を壊して、心の距離が縮まった気がします」と話していました。

3月5日 | ゆいの里 交流ホーム

守山弥生遺跡研究会「ヒミコ時代の服部遺跡」



**知られざるヒミコ時代の生活
歴史好きな参加者が集う**

NPO法人 守山弥生遺跡研究会による、13年間の活動を締めくくると勉強会が催されました。同研究会 理事の大橋 信弥さんを講師に、弥生時代や古墳時代の服部遺跡の集落や遺物について解説がありました。実際に発掘調査に携わった体験談や説明は興味深く、歴史愛好家など43人の参加者は熱心に聞き入っていました。

2月27日 | エルセンター

一休フォーラム in もりやま



**歴史資料調査の一部成果から
少林寺や守山の魅力を紐解く**

一休宗純ゆかりの少林寺(矢島町)の所蔵資料調査について、中間報告のフォーラムが開催され、約120人が参加しました。調査の中で確認された多種多様な史料や墨蹟などから、一休さんと少林寺の足跡や中世の守山の情勢などをひもとく、4人の専門家による講演会のほか、パネルディスカッションが行われました。

3月8日 | 市役所 多目的ホール

ルシオール ジュニアバンド ファーストコンサート



**昨年4月に誕生した小学生の吹奏楽団
「吹奏楽のまち、もりやま」を目指して**

市民ホールで設立された、県内では珍しい小学生の吹奏楽団による初めてのコンサートが開催され、「プリンセス・メドレー」や「愛の花」などの楽曲が披露されました。約1年前に初めて楽器に触れてから練習を重ねてきた子どもたちは、満員の観客を前に一生懸命演奏し、初々しくも、心の込もった音色を響かせていました。

3月7日 | 市民ホール 小ホール

守山市の人口

令和8年2月28日現在
(前月比)

人口	86,164	(- 13)
男	42,331	(- 19)
女	43,833	(+ 6)
世帯数	36,033	(+ 2)

▼暖かい日が増えて、梅や桜の咲く便りを耳にするようになる。特別花が好きというわけではなくても、桜を見ると写真を撮ってしまう。今年はどこへ花見に行こうかと考える。そして、新年度という、大きな節目を迎える。社会人には進級することも、卒業・入学することも新しい年度を迎えることに変化を感じてそれぞれ変わる。▼最後に、春に私は1つ年を取る。いつまで誕生日が来ることを喜べるか不安になる年齢に差し掛かっているが、まだ今ほどきどきを感じるイベントである。おめでとう私。おめでとう、春の季節に変化を迎えるすべての人たちへ。



年を重ねるたびに、巡る季節の早さに驚くけれど、